

平成 28 年度 山形県における一戸建て住宅の省エネ対策等に関する調査票

会社名

記入者：役職

氏名

住 所

電話番号

以下の中で、当てはまるものに☑を入れて、材質等をご記入ください。

1 2016 年（1 月～12 月）に着工した新築一戸建て住宅で、最も多く使われた断熱・気密仕様

住宅の構造	☐ 木造（ ☐ 在来軸組工法 ☐ 枠組壁工法 ☐ その他） ☐ 鉄骨造 ☐ R C 造			
断熱材の施工方法	☐ 充填断熱工法 ☐ 外張断熱工法			
断熱材の種類と厚さ、気密材の種類 （材質の記入例） ・高性能グラスウール ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・押出法ポリスチレンフォーム （密度種類の記入例） 16K、1 号、A 種 （気密材の種類の記入例） ・防湿気密フィルム（フィルムの場合厚み 0.2mm） ・吹付け硬質ウレタンフォーム	天井	材 質	密度種類	厚 さ
				mm
		気密材の種類		
		（フィルムの場合厚み mm）		
	屋根	材 質	密度種類	厚 さ
				mm
		気密材の種類		
		（フィルムの場合厚み mm）		
	壁	材 質	密度種類	厚 さ
				mm
		気密材の種類		
		大壁又は真壁		
	床	材 質	密度種類	厚 さ
				mm
		気密材の種類		
		（フィルムの場合厚み mm）		
	土間床等の外周部（基礎）	材 質	密度種類	厚 さ
				mm
		気密材の種類		
		（フィルムの場合厚み mm）		
開口部の断熱仕様	窓サッシ	形状	☐ 一重 ☐ 二重 ☐ 三重	
		材質	☐ 金属製 ☐ 金属製熱遮断構造 ☐ プラスチック製 ☐ 木製 ☐ 木又はプラスチックと金属との複合材料製	
	窓ガラス	ガラス種	☐ 単板ガラス ☐ 複層ガラス ☐ 低放射複層ガラス	
		中間層	mm	
		封入ガス	☐ 空気 ☐ アルゴン ☐ クリプトン ☐ 真空ガラス	
	ドア	☐ 扉が木製 ☐ 木製（扉が断熱積層構造） ☐ 金属製熱遮断構造パネル ☐ 金属製熱遮断構造枠と断熱フラッシュ構造扉		
	断熱性能（UA 値） 外皮平均熱貫流率	☐ 計算している（ W/(m ² ・K)） ☐ 計算していない ※計算されている方で、使用している計算ソフトがありましたらお教えてください。 （ ）		
気密測定	☐ 実施している（ w/mk） ☐ 実施していない			
気流止め	☐ 行っている（材料 ） ☐ 行っていない			

2 新築一戸建て住宅の着工実績の内容（着工数）

		2016 年 1 月～12 月
着工数	総着工数	
	フラット 3 5 を利用した住宅棟数	
	フラット 3 5 S を利用した住宅棟数	
	「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」を利用した住宅棟数	
	「地域型住宅グリーン化事業」を利用した住宅棟数	
	上記以外の国や県、市町村などの公的補助金を利用した住宅棟数	
	B E L S 認証登録を行った住宅棟数	
断熱性能	平成 4 年基準該当住宅棟数（Ⅲ地域、新省エネ基準）	
	平成 4 年基準該当住宅棟数（Ⅱ地域、新省エネ基準）	
	平成 11 年基準該当住宅棟数（Ⅲ地域、次世代省エネ基準）	
	平成 11 年基準該当住宅棟数（Ⅱ地域、次世代省エネ基準）	
	平成 28 年基準該当住宅棟数（4 地域）	
	平成 28 年基準該当住宅棟数（3 地域）	
	認定低炭素住宅該当住宅棟数	
	U A 値（外皮平均熱貫流率）の計算棟数	
	Q 値（熱損失係数）の計算棟数	
暖房設備	気密測定の実施棟数	
	電気蓄熱暖房機を導入した住宅棟数	
	電気温水式暖房（ヒートポンプ式）を導入した住宅棟数	
	電気床暖房（ヒーター式）を導入した住宅棟数	
	冬期暖房使用を想定したエアコンを導入した住宅棟数	
	石油温水式暖房を導入した住宅棟数	
	ペレットストーブを導入した住宅棟数	
換気設備	薪ストーブを導入した住宅棟数	
	熱交換換気システム(壁付け)を導入した住宅棟数	
給湯設備	熱交換換気システム(ダクト式)を導入した住宅棟数	
	エコキュート（ヒートポンプ式電気温水器）を導入した住宅棟数	
	電気温水器（従来型ヒーター式）を導入した住宅棟数	
	エコジョーズ（高効率ガス給湯器）を導入した住宅棟数	
太陽エネルギー	エコフィール（高効率石油給湯器）を導入した住宅棟数	
	太陽熱温水器を導入した住宅棟数	
その他の設備	太陽光発電を導入した住宅棟数	
	エネファーム（家庭用燃料電池コージェネレーションシステム）を導入した住宅棟数	
	H E M S （ホーム エネルギー マネジメント システム）を導入した住宅棟数	
上記以外に設備で設置したものがありましたら、機器名と棟数を記載してください。		

3 一戸建て住宅の増改築・改装等工事实績（着工数）

	2016 年 1 月 ～12 月		2016 年 1 月 ～12 月
増築工事实施棟数		断熱材の取替え・付加を行った棟数（増築部分を除く）	
改築工事实施棟数		ボイラーの取替え実施棟数	
改装工事实施棟数		県や市町村のリフォーム補助金を利用した棟数	
窓の取替えを行った棟数		国の補助金等を利用棟数	
窓ガラス交換（複層ガラス化）実施棟数		気流止めの工事を行った棟数	
内窓設置（二重サッシ化）実施棟数			

平成 28 年度 調査票（断熱仕様が異なる住宅を着工した場合）

「2016 年（1 月～12 月）に着工した新築一戸建て住宅で使用した断熱仕様」について、断熱仕様が異なる住宅を着工した場合、可能な限り住宅ごとにご記入をお願いします。2 棟目以降は、以下にご記入ください。（記入は任意）枚数が足りない場合は、コピーしてお使いください。

住宅の構造	☐ 木造（ ☐ 在来軸組工法 ☐ 枠組壁工法 ☐ その他） ☐ 鉄骨造 ☐ RC造				
断熱材の施工方法	☐ 充填断熱工法 ☐ 外張断熱工法				
断熱材の種類と厚さ、気密材の種類 （材質の記入例） ・高性能グラスウール ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・押出法ポリスチレンフォーム （密度種類の記入例） 16K、1 号、A 種 （気密材の種類の記入例） ・防湿気密フィルム（フィルムの場合厚み 0.2mm） ・吹付け硬質ウレタンフォーム	天井	材 質	密度種類	厚 さ	
				mm	
		気密材の種類			
		(フィルムの場合厚み mm)			
	屋根	材 質	密度種類	厚 さ	
				mm	
		気密材の種類			
		(フィルムの場合厚み mm)			
	壁	材 質	密度種類	厚 さ	
				mm	
		気密材の種類		大壁又は真壁	
		(フィルムの場合厚み mm)			
	床	材 質	密度種類	厚 さ	
				mm	
		気密材の種類			
		(フィルムの場合厚み mm)			
	土間床等の外周部（基礎）	材 質	密度種類	厚 さ	
				mm	
		気密材の種類			
		(フィルムの場合厚み mm)			
	開口部の断熱仕様	窓サッシ	形状	☐ 一重 ☐ 二重 ☐ 三重	
			材質	☐ 金属製 ☐ 金属製熱遮断構造 ☐ プラスチック製 ☐ 木製 ☐ 木又はプラスチックと金属との複合材料製	
		窓ガラス	ガラス種	☐ 単板ガラス ☐ 複層ガラス ☐ 低放射複層ガラス	
			中間層	mm	
封入ガス			☐ 空気 ☐ アルゴン ☐ クリプトン ☐ 真空ガラス		
ドア		☐ 扉が木製 ☐ 木製（扉が断熱積層構造） ☐ 金属製熱遮断構造パネル ☐ 金属製熱遮断構造枠と断熱フラッシュ構造扉			
断熱性能（UA 値） 外皮平均熱貫流率		☐ 計算している（ $W/(m^2 \cdot K)$ ） ☐ 計算していない ※計算されている方で、使用している計算ソフトがありましたらお教えてください。 （ ）			
気密測定		☐ 実施している（ w/mk ） ☐ 実施していない			
気流止め	☐ 行っている（材料 ） ☐ 行っていない				